

風早の本だより

北条高等学校図書委員会

《 1月号 》

令和2年1月発行



いよいよ3学期が始まりました。3年次生の皆さんは残りわずかの高校生活となりましたね。そして、1・2年次生の皆さんは新しい年次への準備をする時期がやってきました。

新しい気持ちへの切り替えとして、少し厚い本や、いつも読んでいるものとは異なるジャンルの本に挑戦してみるのもいいですね。新着本もたくさんあります。ぜひ図書館に足をのばしてみてください。

※昨年に本を借りて、返却がまだの人は大至急返却をお願いします。

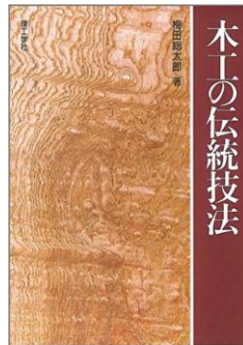
☆先生方のおすすめの本とメッセージ

藤本 弘志先生 (芸術・美術)

① おすすめの本 書名：「木工の伝統技法」

著者：梅田総太郎

タイトルの通り、私自身の専門である木材工芸の伝統技法について書かれた本です。私の大学の恩師のそのまた先生が書かれた本で、卒業制作や卒業論文の時に大いに参考にさせていただきました。木材工芸を専門とする自分にはバイブル的な本で、作品を制作する時、道具を仕立てる時、こんなものを作りたいなあと妄想に耽る時に何度も読み返しています。



② 北条高校生にメッセージ

本とは人生を豊かにする先人の知恵が詰まっているものだと思います。どんな本でも読むことによって何か得るものがあると思います。あまり読書をしない自分が言うのもどうかと思いますが、ぜひたくさんの本を読んで、豊かな人生を送って欲しいと思います。

☆新着図書紹介

図書委員が皆さんに読んでもらいたいと思って選んだ本です。新着本コーナーに展示していますので、ぜひ読んでください。



「同期のサクラ」

同期4人が語る主人公サクラとの出来事。サクラが語る夢と挫折。テレビドラマでは描かれなかった、同期たちの気になる心の動きや背景が6つの物語で描かれます。

「ゴミ清掃員の日常」

ゴミ清掃員、時々お笑い芸人の漫画エッセイ。読むと分別したくなります。

「星の子」

林ちひろは、中学3年生。出生直後から病弱だったちひろを救いたい一心で、両親は「あやしい宗教」にのめり込んでいき、その信仰は少しずつ家族のかたちを歪めていく…。野間文芸新人賞を受賞し、本屋大賞・芥川賞にもノミネートされました。芦田愛菜主演で今年映画公開予定です。



他に、「女子的生活 (坂本 司)」「ライオンのおやつ (小川 糸)」「この空の上でいつまでも君を待っている (こがらし輪音)」「青空に飛ぶ (鴻上尚史)」「一分間だけ (原田マハ)」「いなくなれ、群青 (河野 裕)」「名古屋カフェ散歩 (川口葉子)」「戦国武将の超絶カッコいい話 (房野史典)」「交通誘導員ヨレヨレ日記 (柏 耕一)」「中学英語で読むディズニー・アナと雪の女王 (石原真弓)」「ソードアート・オンライン 22・23 (川原 礫)」など。